

緊急赤潮情報R6-4④

令和6年7月24日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

周防灘沿岸にて有害赤潮プランクトンであるカレニア ミキモトイが注意または警戒密度を超えて確認されました。

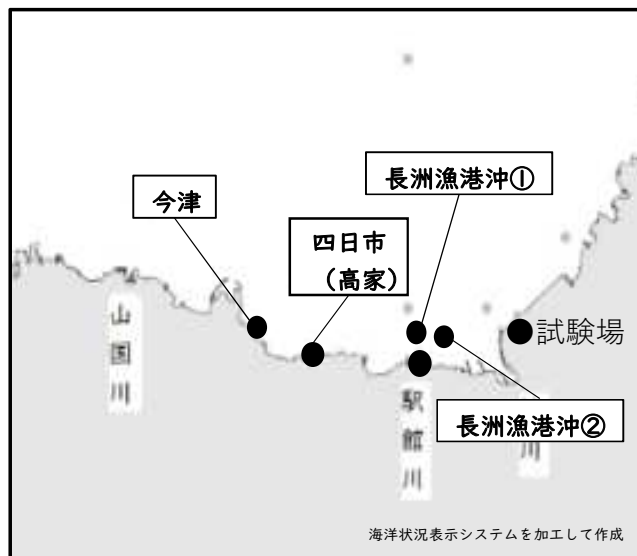
表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査月日	調査場所	調査時間	採水層(m)	水温(°C)	塩分(PSU)	カレニア ミキモトイ(細胞/ml)
7月24日	今津	10:25	0	31.5	-	490
	四日市(高家)	9:50	0	30.3	-	390
	長洲漁港沖①	-	0	-	-	18,300
	長洲漁港沖②	-	0	-	-	40,500

採水：大分県北部振興局
検鏡：北部水産グループ

カレニア ミキモトイ

- ・注意密度
200細胞/ml
- ・警戒密度
2,000細胞/ml



カレニア ミキモトイは非常に有害なプランクトンです。
以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

(カレニア ミキモトイ赤潮の留意点)

- ①カレニア ミキモトイは、魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ②特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ③本種は赤潮の初期には中・底層で増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すプランクトンです。水色や漁模様の急変など海域監視の強化に努めてください。

(赤潮発生時の留意点)

- ①特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
- ②赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。